



NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 代表理事 高橋 048-462-9912

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>
 一緒に自然に親しみ、ボランティア活動をしましょう 随時会員募集中

2019年2月、3月の主な予定表 (2019年1月発行)

予定	全体会	新倉ふれあいの森	富澤湧水・大坂ふれあいの森 (地域の会に協力して)
2月		16日 保全	9日 富沢湧水調査・保全 9時 20日 大坂ふれあいの森 9時
3月	3日 NPO 法人自然観察指導員埼玉の総会。研修会(中央公民館・樹林公園) 23日の予定 観察&ウォーキング カタクリとニリンソウを訪ねて 3月末 NPO 活動サポート事業報告会	16日 観察・保全	9日富沢湧水調査・観察・保全 20日大坂ふれあいの森観察・保全

1. 樹林公園のヒロハアマナ保護区保全活動 1月9日実施しました

ヒロハアマナ保護区は、機械を使わない方法でヒロハアマナの環境を整えています。夏には樹木の枝で日陰が出来る環境を整えようと、生育中の樹木を残していますが、あまり多くても地面が根に占領されてしまいます。今回はその根を取り除く作業を行いました。新年早々でしたが、10名の参加が有り、根掘り作業をしました。



3月3日は、NPO 法人自然観察指導員埼玉の総会及び研修会があり、樹林公園を案内します。その頃のヒロハアマナの開花状況はいかがでしょうか。ここは、和光市谷中の開発によるヒロハアマナの自生地からの移植地で、生育地は広がっています。

2. 美しい自然にふれる“第四小学校校庭の樹木図鑑”作成と樹木名札付け

第四小学校の校庭は広く、正門から校舎までの間は通称“モミジロード”と呼ばれています。この道の両側には様々な樹木が植えられ育てられています。この一角にはカマキリなど生き物が多く、草の茎に卵囊が5個も見つかりました。ここは“生き物保護のため草は刈らない”所で草木の保護区になっています。必要最小限に手入れをしているところです。



樹木を調べたところ「オオヤマレンゲ」という大変貴重な樹木がありました。早春にはロウバイ、マンサク、モモの花、ハナズオウ、サンシュユ、トサミズキなどが次々に花を咲かせます。5月ごろシャクナゲが花盛りを向かえます。「オガタマノキ」が国旗を掲げるグラウンド前の岩庭園に成長していて、入学式頃花が見られます。初夏には「サクランボ」がたわわになり生徒達が食べられるそうです。秋から冬にかけてミカン、レモン、ユズ、キンカン、ナツミカン、シシユズたちが実をつけ果樹園のようです。自然に触れられる校庭樹木に、かわいい名札を付ける作業を「飼育栽培委員会」の先生方と生徒達と一緒に行うことが出来ました。



3. 湧き水の会の活動やフィールドを紹介する会のパンフレット完成

埼玉県 NPO 活動サポート事業を進める中で、当会を紹介するパンフレットづくりも行ってきました。高柴さんのデザインで、今までに集めた写真を活用し、カラフルで活動内容やフィールドが解り易いパンフレットが出来上がりました。ただいま配布中です。これも活動の一環ですので、公民館やコミセンなどへの配布をお願いします。

4. 富沢湧水の梅林

1月12日土曜日、今年最初の富沢湧水の保全日には、いつものメンバーが集まり、斜面上部の樹木の枯れ枝を落とす作業、ウメの林床のササ刈り、さらに樹木を点検して絡んでいるつる植物を取り除いたり、森の手入れを手分けして行いました。

ウメの木には赤いつぼみがたくさんついています。森の手入れが進み、ウメの木の元気がもどってきています。「実のなるウメの木が植えられたらいいな」との意見もあり、空いたスペースにウメの木を増やせないかと考えています。つぼみ、花、実も期待でき、きっと手入れも楽しくなるかもしれません。富沢には子供たちも参加しています。



5. 湧き水の会の視察研修会 12月15日

歴史と自然のかかわりを勉強会で学びましたので、研修会でも、江戸時代に利根川流域の大掛かりな河川改修と江戸のまちづくりとの関わりを訪ねて、千葉県立関宿博物館に会員25名で行きました。

16世紀半ばから、徳川家康公のもとで、現在の東京湾に流れ込でいた利根川をこの関宿

町の発展の基礎を築い

たところ。洪水に対

する人々の知恵から生

まれた水塚をはじめ、明

治時代以降に行われた

利根川流域での大がかり

な河川改修工事や利根運河の開削などの概要を様々な資料や模型で紹介しています。当館が所在する野田市は関東平野のほぼ中央に位置しており、利根川・江戸川の流れをはじめ、筑波山・富士山など関東平野を取り巻く山並みを遠望することができる地域です。

午後にはさきたま古墳を訪ねました。ここは「埼玉県発祥之碑」がたてられ、県名の由来の地です。稲荷山古墳の発掘から「金錯銘鉄剣」が出土し、国宝に指定されています。古代国家成立に関わる武蔵野国に大きな勢力を持って支配していた人ではないかとの説明を聞くことが出来ました。

午後にはさきたま古墳を訪ねました。ここは「埼玉県発祥之碑」がたてられ、県名の由来の地です。稲荷山古墳の発掘から「金錯銘鉄剣」が出土し、国宝に指定されています。古代国家成立に関わる武蔵野国に大きな勢力を持って支配していた人ではないかとの説明を聞くことが出来ました。

